



▲4月から開園している新高木保育園



▲御船町立高木保育園閉園記念誌  
「ありがとう！未来へつなごう高木保育園」

# 受け継がれていく 高木保育園



社会福祉法人南苑会  
高木保育園 統括園長  
沖田 昌史さん

地震で被災し、園庭もなく、子どもたちはよく乗り越えてきたと思います。限られた環境の中で、先生たちがさまざまな工夫を凝らし、子どもたちに元気になってもらおう！という思いから出たことだと思います。

町立保育から民営保育に変わりますが、40年間受け継がれてきた園歌はそのまま受け継ぎます。これからは、高木の地域に根差した保育、子ども中心の保育を目指し、地域に愛される保育園にしたいです。



第12代園長  
長野 葵子さん

昭和53年4月1日御船町立高木保育園の設立と同時に、短大を卒業し御船町役場新規職員として採用された私！そして、平成30年3月31日をもって、閉園を迎えると同時に、退職を迎える私です。40年間の長きにわたり、保育園・幼稚園の現場37年、役場こども未来課主幹として3年、高木保育園と一緒に始まり終わりを迎え、本当にこみあげてくるものがあります。主任になったのも園長になったのも高木保育園からです。あの桜の満開の中、入園卒園を迎え、子ども達と園庭いっぱい走り回り、土手すべりをし、たくさんの思い出をつくってきました。保護者の皆さん達ともよく語りよく飲み(笑)本当に楽しい思い出いっぱいです。私がこの閉園の準備をしていくことになりさびしい気持ちでたまりませんが、みんなの心の中に残っていくことと思います。子ども達、保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。



初代園長  
宮崎 シズヤさん

振り返ると開園当初は、グラウンドには10cmの砂利が敷いてあり、泥をもらっては毎日、手作業で整地していました。子どもたちに早くグラウンドで思いっきり遊ばせたい、そして何より、運動会をしたい思いがありました。園舎を囲むように法面に植わっている桜の木は、当時の先生たちで植えました。子どもと転げ回って、一緒になって遊んだのが一番の思い出です。私が退職したときに、卒園した子が「この花は、宮崎園長先生にやるだけんね！」と言ってわざわざ会いに来てくれました。本当にうれしかったです。高木保育園や子どもたちからいろいろなことを教わりました。高木保育園が一番のよどころです。40年という長い間ご苦労様でした。ありがとう。



第16代園長  
野口 壮一さん

町立高木保育園の最後の1年間、園長として勤務させていただいた中で、園庭もない厳しい環境の仮園舎へ登園してくる78名の可愛いこども達と出会い、園舎に行くたびに癒され私が逆に元気をもらったことが一番の思い出です。

高木地域の方々の温かい支援をいただきながら、40年の歴史を刻んできた高木保育園が閉園することはとても寂しいものです。4月から民間への移行となりますが、園名および年間行事等が引継がれることが唯一の安心に繋がっています。今後も高木地域の発展に欠かせない保育園として、地域とともに育っていく保育園となりますよう応援しています。



1\_「ありがとうの花」を歌う園児たち 2\_6年前の卒園児が園庭に埋めたタイムカプセル 3\_なつかしい園庭で遊ぶ卒園児 4.5\_昔の写真を見てなつかしむ人たち 6\_閉園を悲しむ参加者たち

ありがとう  
高木保育園



平成29年度卒園児

高木保育園での一番楽しかった思い出は、お見知り遠足やお泊り保育、そして運動会です。高木保育園がなくなるのは本当にさみしいです。今まで遊んでくれてありがとう。高木保育園だあいすき!!



平成23年度卒園  
上田 拓弥さん

高木保育園での一番の思い出は、運動会でリレーのアンカーを走っていたとき、もう一組と競り合い、同時ゴールしたことです。他にも、桜が咲いている土手の上まで、ロープをつたって登り、ダンボールで草スキーみたいに降りて楽しかったです。高木保育園には4年間お世話になりました。園での思い出を胸に頑張りたいです。今までお疲れ様でした。



主任保育士  
國友 淳子さん

高木保育園には、平成11年から5年間、そして平成23年から閉園までの7年間勤務させていただきました。広い園庭での虫捕り、土手すべり、神社や田んぼまでの散歩が日課で、いつも自然の中で過ごしていました。たくさんの皆様に支えられた仮園舎での2年間も、貴重な経験となりました。閉園はとても寂しいのですが、御船町立高木保育園での思い出は、私にとって一生の宝物です。高木保育園ありがとう!